

ためには、需要の確保、周辺開発などの大きな課題を解決し、予定事業から新規事業に組み入れられることが必要です。

そのため、県は、企画調整部内に三年十二月一日「大館能代空港建設推進事務局」を設置、更に建設予定地の鷹巣町に四年四月一日「大館能代空港対策事務所」を設置するなど、早期開港に向け積極的な推進体制をとっています。

市としても、航空需要の確保と資源の活用を図るため、県や関係市町村と協議しながら、長期的、広域的な視点に立った周辺開発などに全力をあげていきます。今後、大館能代空港建設促進期成同盟会や大館地域推進会議と呼応しながら、早期着工、早期開港に向けた運動を展開してまいります。



6月5日開催された大館能代空港建設期成同盟会

大館市総合福祉

センターについて

市総合福祉センター建設事業については、台風や長雨等の影響によって工期の延長を余儀なくされましたが、現在工事はほとんど終わり、六月二十日の完成に向けた諸検査等の手続きを残すだけとなっています。また、外構工事も七月二十日の完成に向け順調に進んでいます。

センター本体完成後の六月二十七日、二十八日には福祉事務所と市社会福祉協議会が移転し、六月二十九日から執務を開始します。また八月からはデザイナービズ事業を開始する予定です。

総合福祉センターの完成により、今後は在宅福祉、地域住民のニーズに対応した総合的な福祉サービスができるかと考えています。

学校給食の

取り組みについて

今年の市議会三月定例会において、成章小学校学区内一部住民から出されていた自校方式による給食の導入の請願は、慎重な審議の結果、早期に未実施校の解決をすべきとの意見により不採択の議決をされています。市としては、市議会の審議経過を踏まえて、基本的には共同



完成間近の総合福祉センター

調理場方式によって給食の導入を図っていきたくと考えています。しかし、共同調理場方式にも長短両面がありますので、自校方式の良さも取り入れた共同調理場方式を検討中です。その一つの方法として、一共同調理場の対象校をできるだけ少なくするために、親子方式の導入等を含め研究を進めています。

今後は、より充実した給食の在り方を求めて、学校事情、財政事情、各校PTA等の意見を十分に考慮し、早期に未実施校の解消に努めていきたいと考えています。

平成4年度公共事業の

発注計画について

内需を中心とするインフレのない持続可能な成長経済へ移行

していくため、公共事業の促進などを柱とした国の緊急経済対策が決定され、国においては上半期末七五・二%の前倒しを、また地方公共団体においても七五%を上回ることをめどとした公共事業の実施促進が要請されました。

市事業の発注計画は補助事業及び単独事業の早期発注を積極的に進めることにし、第1・四半期（四月～六月）四〇・六%、第2・四半期（七月～九月）四三・七%と九月までの上半期では八四・三%、前年同期対比で一・二%増を目標にして、地域の景気浮揚対策に努めます。

市指定ごみ袋

使用の試行について

市では、資源ごみの再利用などによるごみの減量と処理経費の節減を図るため、これまで「資源ごみ回収奨励金制度」、「生ごみ処理器貸与制度」を実施しています。

三年度の資源ごみ回収状況は、回収団体総数が百二十五団体、回収量が五百七十九トン、奨励金の交付が百十五万八千円となっています。また、生ごみ処理器の貸与はこれまで二千二百五十個で、年間推定量六百の生ごみがたい肥化され大地に返されています。

今回市では、三町内四百十世帯をモデル町内に指定し、六月一日から三月三十一日までの十カ月間、指定ごみ袋を使用した分別収集を試行しています。その結果によっては、五年度から指定ごみ袋による分別収集の本実施を考えています。



指定ごみ袋試行町内でのごみ集積所

その他の 行政報告

- ▽秋田職業能力開発短期大学校について
- ▽医療事故について
- ▽下水道事業について
- ▽「大館の歴史」の刊行について
- ▽第四十回山田記念ロードレース大会について
- ▽低水圧解消工事について
- ▽平成三年度各会計の決算見込みについて